

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和7年度長期就農研修

NEWSLETTER（7・8月合併号）

今号では研修生同士の「横」の絆だけでなく「縦」のつながりが生まれたことや、春夏の栽培をとおり学んだこと、各研修生の就農5年後の所得目標を掲載しています。ぜひ最後まで御覧ください。

研修生同士の仲が深まっています！



研修生が懇談する様子

令和7年8月5日に7月の実績報告をしていただくとともに、これまで取り組んできた春夏の栽培記録のまとめを行いました。

併せて、就農5年後の所得目標を発表しました。各研修生のコメントは、次のページに記載しています。

左の写真はこの報告会の懇談の様子です。約3か月が経過し、研修生同志の絆が深まっていることが実感できました。

右の写真は、8月5日に令和6年度長期就農研修生で、現在は郡山市に就農している橋本氏が当校に来校し、令和7年度長期就農研修生と交流した時のものです。

各研修生は橋本氏を自身の研修ハウスに案内し栽培について意見交換するとともに、橋本氏に対し青年等就農計画作成にあたって苦労したことや就農後の経営状況など、多くの質問をしていました。



令和6年度長期就農研修生の橋本氏
（写真左）と連絡先を交換する様子

研修生奮闘記



諸橋野菜経営学科長へ相談する様子
(写真左：I氏)

(7月分報告)

きゅうりは自分に合わないことが分かった。トマトは可能性を感じるため、秋作はミニトマトに挑戦したい。

(この春夏をともし学んだこと)

多くの失敗をしているが、なぜダメだったのか、自分なりに理解できていると思う。引き続き多くのことを経験し、成長していきたい。

(5年後の所得目標)

300～400万円。ハウスを補助事業を活用して建てたいが、農地が見つかっていない状況。補助事業の申請期限は8月なので、就農1年目は露地でできるものを栽培したい。

(7月分報告)

きゅうりの摘心のタイミングを間違え、栄養が樹体の生長にとられてしまった結果、収穫が早めに終わってしまった。もったいない気持ちは捨てるようにしたい。



研修生と質疑応答する様子(写真左奥から3人目：渡部佑樹氏)

(この春夏をともし学んだこと)

定期的な農薬散布、天候や土壌の状況に合わせたかん水、事業計画や作業スケジュールを立てることの重要性を学んだ。秋作に活かしたい。

(5年後の所得目標)

(3人で)3千～4千万円。きゅうり30a、ネギ140a、ニラ15aの計画。販路は市場やJA、直売所、飲食店、イベント出店を想定。



有機農業推進室職員の指導を受ける様子（写真左：佐々木寛史氏）

（7月分報告）

トマトの実のつきが悪い原因は暑さではなく、トマトトーンの使い方であることがわかった。説明書をよく読むようにしたい。

（この春夏をともし学んだこと）

これまでの経験を活かし来春の土づくりや雑草防除といった作業体系の見直しを行っている。また販路についても直売所では価格競争になっており、販路の見直しを検討中。

（5年後の所得目標）

400万円。ネギ30a、ポップコーン30a、ダイズ30a。市場や地元業者と取引を想定。この他トマトやきゅうりも4a程度栽培し直売所へ出荷予定。

（7月分報告）

（自分は水稻なので）田植え後はほ場へ1日1回程度は巡回するが、野菜は品目によっては1日5～6回、1株1株丁寧に観察することが重要であることが講義をとおしてわかり、自分の性格は野菜づくりに合っているのか、考えさせられた。



有機農業推進室職員と意見交換する様子（写真左：大河原幸枝氏）

（この春夏をともし学んだこと）

プール育苗や密苗の栽培管理技術を学んだ。来春に活かしたい。また、稲刈りが終わった秋頃から春先まで販売できる野菜をこの秋で見つけない。

（5年後の所得目標）

1千万円。現在は水稻18haだが5年後は20haに拡大する予定。事業継承にあたり、飲食店や個人間取引にも関心がある。



きゅうり収穫の様子（写真：後藤創紀氏）

（7月分報告）

トマト、ナス、きゅうりの害虫防除に苦慮している。防除のタイミングについて、改めて勉強したい。

（この春夏をとおり学んだこと）

病虫害防除のタイミングや事業計画立案の難しさを実感している。特に銀行から融資を受けるためには、緻密な計画とその根拠が求められ、対応に苦慮している。

（5年後の所得目標）

（3人で）3千～4千万円。きゅうり30a、ネギ140a、ニラ15aの計画。ネギについては通年出荷できるように、定植時期や品種を検討中。

（7月分報告）

ナスの水分コントロールが難しい。また害虫の対応にも苦慮している。（自分の）観察眼を養いたい。



報告会の様子（写真手前：O氏）

（この春夏をとおり学んだこと）

定植～収穫をとおり、例えば畝立て時の通路幅やかん水チューブの位置といった、実際にやってみないと分からないことを学ぶことができた。この経験を秋作に活かしたい。

（5年後の所得目標）

（3人で）3千～4千万円。きゅうり30a、ネギ140a、ニラ15aの計画。知人をとおして農地を探しているが、自分たちが理想と考える条件の農地は見つからない状況。